

ソフトボールの県大会（6月下旬）に向けて練習する昭博さん（前列中央）とチームメイトの皆さん



年を重ねても楽しく運動ができる 広がる笑顔の輪を演出していきたい



あきひろ
小沢 昭博さん（62歳）

谷地下在住

還暦を迎えた人たちで構成される野球・ソフトボールチーム「胆江球爺s」代表兼監督。趣味は映画鑑賞、家系図作成。母、妻、息子と4人暮らし。

▶胆江球爺s 会員募集中

- 対象 昭和40年4月1日以前に生まれた60歳以上の人（50代は準会員）
- 内容 還暦古希野球・ソフトボール（ファストピッチ、スローピッチ）の練習・交流試合。公式大会参加 ☎ 090-9729-2682

「健康じゃないけど、健康になりたい。そう思っている人たちと楽しく運動して自信を付けてもらいたい」と話す昭博さん。定年退職を機に地元金ケ崎に戻り、60歳を過ぎた人たちが構成する還暦野球とソフトボールチーム「胆江球爺s」を立ち上げた。

進学を機に上京。映像に携わり、テレビ番組や映画の企画制作のほか、岩手県内の複数のケーブルテレビ開局立ち上げにも尽力。高校野球中継や民放と現役プロ野球選手やOBによる野球教室を企画したこともあった。

転機は55歳を過ぎたころ。交通事故で大ケガを負い、リハビリの過程で全国古希野球大会の審判員を務めた。70歳を過ぎてはつらつとプレーする姿を見て、こんなに楽しそうに野球ができるのかと衝撃を受け、感動したという。

胆江球爺sは「55から78の年齢で、どこかしらに故障を抱えていたり、病んでいるオヤジたちの集まりです」と笑いながら話す昭博さん。がんステージ4や精神・脳・心疾患の人もいるという。「適度な運動を」と医師や家族に推されて入会する人も。大切にしていることは、あくまで健康のために楽しむこと。仲間を尊敬し合い、男女年齢差を問わず交流試合も盛ん。

「汗を流すことが楽しみとなって健康に繋がっている」と口を揃える。チームメイトも笑顔は爽やかだ。

まずは人数を集めて、年に10回以上ある公式大会への出場を目指す。

広報日記



今月は金ケ崎マラソン大会を取材させていただきました。天気を心配しておりましたが、当日は持ちこたえ、10000人を越える参加者とさまざまな出場で会場は大いににぎわいました。別の取材のため会場を出ると、駐車場や道路誘導など、多くの大会係員とすれ違いました。主役は選手の方ですが、レースを支える数百人(?)のスタッフの皆さんのおかげで支えられている大会なんだと改めて実感しました。（村口）



町公式 LINE
情報発信中

人口と世帯

5月31日現在

※()内は前月比

| | | |
|-----|---------|--------|
| 人口 | 15,162人 | (- 12) |
| 男 | 7,811人 | (+ 5) |
| 女 | 7,351人 | (- 17) |
| 世帯数 | 6,323世帯 | (+ 1) |